

令和5年5月31日

各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられ、経済の正常化がより一層進み、コロナ以前の生活に戻りつつある感があります。私どもの会社の業績も少しずつコロナ前に近づいてきています。特に週末は仕出し弁当を中心にどの店舗もたくさんのお客様から注文をいただいています。調理・配達現場のスタッフの皆様には早朝出勤などのご労苦をおかけしながらも頑張っていたことに感謝しています。

さて、全ての人はそれぞれが「社会」という一つの組織の中で生きています。そして組織では大小さまざまな歯車が相互に関わり合っていて動いています。たとえ小さな歯車でもそれがなければ組織は動きません。大きな歯車を動かすためには特に小さな歯車が重要と言えます。会社という組織で考えると社長である私も一つの歯車と言えます。

世の中にある普通の腕時計は数十から数百の歯車が関わり合っていて時計を動かしています。一つの歯車が不備を生じれば時計全体が止まってしまいます。これは組織でも同じです。この会社で働くスタッフは私を含めて全員が同じ目標に向かって働く大切な歯車と言えます。

組織は大きな歯車と小さな歯車がうまく噛み合った時に円滑に動きます。一つとして不要な歯車はないということを胸に刻み、社長としての自分の務めを精一杯果たしていこうと思います。

敬愛する詩人の坂村真民先生の詩で

「生きているからには しょぼしょぼとした 目なんかせず 生き生きした 魚の目のように
いつも光っていようではないか 生きているからには くよくよした 泣きごとなんか言わず
春の鳥のように 空に向かって 明るい歌を歌おうではないか」

困難なことがあった時、私はいつもこの詩を思い出します。先が見えない世の中だからこそ、生き生きとした人生を送らなければならないと思います。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々